

※以下の内容を記入し、**実験走行日から5日以内**に、メールにて事務局(challenge@rt-tsukuba.jp)までお送り下さい。
この情報は、つくばチャレンジ 2014 ホームページで共有します。

つくばチャレンジ 走行実験の内容および結果レポート

つくばチャレンジ 2014 第 回実験走行会 2014/ 8 / 2 (土)

ロボット No.: 1413

ロボット名: POSS-TINY

チーム名: 北京大学

記載責任者: 趙卉菁

1 実験の目的(特に準備したことがあれば、それもお書き下さい。)

実験コースや課題の内容を現場で確認、データ記録

2 実験の具体的内容と成果

2.1 実験の具体的内容

ロボットをリモートコントロールで走らせ、実験コースのデータを記録する。

2.2 実験成果

実験コースのデータを記録し、マップを作成した。

3 自律走行実験を行ったチームは以下にもお答え下さい。

3.1 自律走行の内容

3.2 自律走行の結果(どこまで走れたか等)

3.3 残された課題

目標探索に関するアルゴリズムの開発。

3.4 失敗した理由

3.5 確認走行を行った場合は、その記録

3.6 記録走行を行った場合は、その記録

4.運営側、実行委員へのコメントや質問等があればお書き下さい。